

創立142周年



学校だより は え 南風の子

中種子町立 南界小学校

平成28年2月10日(水)発行

止まっても、また進む

校長 岡留 祐宏

立春はこれから暖くなるというわけで、旧暦ではここが年の初めとされてきました。大晦日に大掃除をするように、立春前夜の節分の日には、豆まきをして悪魔を追い払う習わしを私たちは引き継いできました。

つい一月前の元旦に、新年の誓いを立てたばかりですが、「明日から」と思っているうちに、あっという間に一月が過ぎました。先日全校朝会では、仮に新年の誓いがうまく実践できていなくても、あきらめずに再スタートをする機会にしてほしいと話しました。もちろん、私自身のことを含めてです。昔から、「三日坊主」

感動作文コンクール表彰式は戒められてきましたが、わずかこの一月のことで、新年の誓いをあきらめてしまうのはもったいない。「三日坊主を何度も繰り返せばいいのよ。」と、かつて上司が語った言葉を思い出します。少し気持ちを楽にして、「思い立ったが吉日」と言い聞かせ、また、前に進みたいと思います。



心に残る言葉 ～6年生の国語学習から～

先日の給食時間の校内放送で、6年生5名が「心に残る言葉」を紹介してくれました。国語の時間に学習したことをもとにして書いた作文です。「一人はみんなのために…」という言葉や「笑顔でいられるように…」などの歌詞の一節を挙げたものもありました。うまくいかないことがあっても、それぞれの言葉から、勇気、元気、やる気をもらえると書いてあります。5名の子どもたちが、それぞれの言葉をどのように受け止めているのか、どんな力をその言葉が与えてくれたのかがよく記されていて、放送に聞き入ってしまいました。

3学期の初めに展示した「校内新春書き初め展」でも、条幅紙にいろいろな言葉が記されていました。「明るい心」「やさしい心」「体力作り」などの言葉には、それぞれの子どもが、毎日の生活の中で大事にしたいこと、目標としていることがうかがえます。

6年生の心に残る言葉の中には、先日の中学校入学説明会のときに聞いた「努力は足し算、協力はかけ算」という言葉を挙げたものもありました。「早く、中学校に行きたい」と、家族にも話してくれたそうです。言葉に力を得て前に進む気持ちを感じ、とても嬉しく思います。



さらに伸ばしたい考え、説明する力

本校では、学力向上の柱として、「根拠を明らかにして考え、説明する」ことを大切にしています。先日、3、4生の算数の研究授業でも、言葉だけの説明ではなく、絵や図、式なども一緒に示して、分かりやすく説明する姿が多く見られました。考えを目に見える形にできることはとても有効です。1年生のプリントを見ても、式や答と一緒に必ず図が記されています。根拠を明らかにして考え、説明し、話し合う力は、日常生活で直面する様々な問題の解決力をも高める大事な力だと考えています。



自分の考えを図で説明

もみ殻に感謝！ 燠炭・焼き芋作り

花壇に燠炭(くんたん)を混ぜ込みたいと考えていたところ、牧瀬守さんが大量のもみ殻を提供してくださいました。

北野教諭指揮の下、煙突状にしたトタン板をもみ殻の上に載せて2時間ほどかけて炭状にしていきました。

ただ燠炭を作るだけでなく、生活科で育てた安納芋の見事な焼き芋もでき、一石二鳥の効果を楽しむことができました。

貴重なもみ殻を提供していただき、ありがとうございました。



燠炭と焼き芋作り